

## VI 意欲と指導力のある教職員を確保・育成するとともに、 教職員が職務に専念できる体制を整備する

(14) 信頼される教職員の確保						
36 優れた教職員の採用・登用						
使命感を持ち、熱意と愛情にあふれ、子どもたちや保護者等から信頼される優れた教職員を採用・登用します。						
達成指標	教員採用選考において、インターンシップ研修生が本市を受験する率	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		83%	85%	85%	85%	A
	免許外教科担任の許可申請件数	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		49件	59件	59件	65件(※)	C
※24年度から新学習指導要領の完全実施により、1学校当たりの教員数は変更ない状態で、理科や英語の時間数が増加したため、技術等の免許外教科担任が増加する状況となっている。						

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
<b>(129)教職インターンシップの推進【教職員課】</b>					
教員	小学校での実践研修の機会を提供し、教員としての資質能力を高めることにより、優秀な教員の確保を図る。	34	48	[23年度の評価] 小学校104校に162人、特別支援学校2校に14人を派遣した。  [24年度の実施計画] 23年度同様、小学校及び特別支援学校に派遣し、教員としての資質能力を高めて頂きたいと考えている。	b
<b>(130)中学校教科担任教員の確保【教職員課】</b>					
教員	非常勤講師を配置することにより、中学校における免許外教科担任の解消を図る。	0	0	[23年度の評価] 10校に5教科分18人の非常勤講師を派遣した。  [24年度の実施計画] 引き続き非常勤講師を配置し、中学校における免許外教科担任の減少を図っていきたい。	b
<b>(131)教員採用選考方法の工夫改善【教職員課】</b>					
教員	県との共同実施の中で、「教職経験者特例」などの選考方法を充実させることにより、さらに優れた人材の確保を図る。	1,967	2,324	[23年度の評価] 7月に第1次選考を、8月に第2次選考を実施することにより、「他県教職特例」や「障害者特別選考の受験年齢資格を60歳未満」などを実施した。  [24年度の実施計画] 引き続き、7月に第1次選考を、8月に第2次選考を実施するほか、「他県教職特例」などを実施する予定である。	a

(15) 教職員の資質・指導力の向上						
37 教職員の資質・指導力の向上に向けた各種研修の充実						
職務遂行に必要な研修や教職員のキャリアに応じた研修を計画的に実施し、教職員の資質や指導力の向上を図り、優れた教育実践の普及を目指します。						
達成指標	基本研修受講者の満足度	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		90%	91%	90%	90%	A
	全教職員に対する専門研修受講者の割合	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		100%	100%	100%	100%	A
	現場研究員、長期研修生、海外派遣研修の研究・研修成果の発表	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
全研修員による発表		全研修員による発表	継続	継続	A	

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
<b>(132)ライフステージに応じた研修の実施【教育センター】</b>					
教職員	管理職等を対象の研修(新任教務主任研修、新任教頭研修、新任校長研修)、経験者研修(初任者・5年経験者・10年経験者・20年経験者、事務職員研修)を、実施することにより、教職員の資質の向上を図る。	7,365	5,678	[23年度の評価] 延べ85日講座を実施し、729名の教職員が受講した。事後のアンケート調査によると91%の受講者が満足したと回答している。  [24年度の実施計画] 教職員の更なる資質向上を目指し、喫緊の教育課題解決に資する研修を実施していく予定である。	b
<b>(133)教職員のニーズに応じた研修の実施【教育センター】</b>					
教職員	専門研修(夏季休業中に、自主的に受講)、各学校の特色ある教育活動を支援する出前講座、基礎的な教科指導力・基本的な学級経営力の向上に役立つ各種講座等の実施により、教職員の資質・指導力の向上を図る。	2,042	2,015	[23年度の評価] 専門研修102講座を開設し、延べ6,000人以上の教職員が受講した。  [24年度の実施計画] 教職員のニーズに応える形で講座を開設し、教職員の資質・指導力の向上に資する研修を実施していく。	b
<b>(134)現場研究員による研究【指導課】</b>					
教員	学校現場において、勤務校における実践的な研究を通して、各教科及びその他の教育活動に関する専門的資質を向上させることにより、学校教育の課題解明を図る。	0	0	[23年度の評価] 52名を選考し専門的資質を向上させるとともに、学校教育の課題解明を図ることができた。  [24年度の実施計画] 53名の現場研究員を選考し、学校現場において、勤務校における実践的な研究を通して、各教科及びその他の教育活動に関する専門的資質を向上させることにより、学校教育の課題解明を図る。	b
<b>(134)内地留学(他府県での研修)の実施【指導課】</b>					
教員	他府県での研修の機会を設けることにより、各教科及びその他の教育活動に関する専門的資質を向上させ、本市学校教育の課題解明を図る。	0	0	[23年度の評価] 休止している。  [24年度の実施計画] 事業の効果等について、十分な検証を行うなど、実施方法について検討を進めた上で、教職員の資質向上に有効であると考えられる場合には、25年度における予算要望につなげていきたいと考えている。	

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
<b>(134)長期研修の実施【指導課】</b>					
教員	長期の研修の機会を設けることにより、教育専門職としての資質力量を高め、本市教育の充実発展に寄与する人材の育成を図る。	20	20	<p>[23年度の評価]</p> <p>本市学校教育課題の解明につながる研究が、長研生研究発表会(参加者約90名)で報告されるとともに、報告書がCabinetに掲載され、教職員が閲覧している。</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>24年度も新たに6名の長期研修生が選考され、教育課題の解明のための研究に取り組み、その成果を発表する。</p>	b
<b>(134)海外派遣研修の実施【指導課】</b>					
教員	教員等に諸外国の教育等の実情を視察させることにより、国際的な視野に立った識見を高め、本市教育の充実発展に寄与する人材の育成を図る。	750	750	<p>[23年度の評価]</p> <p>14人の教員等に諸外国の教育実情を視察させることにより、国際的な視野に立った識見を高め、本市教育の充実発展に寄与する人材の育成を図った。</p> <p>※今年度は、小学校英語の派遣国(タイ)が洪水のため1名派遣中止。</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>15人の派遣を考えている。</p>	
<b>(135)特別支援教育研修の実施【養護教育センター】&lt;計画(157)と重複&gt;</b>					
教員 市民	教職員を対象とし、特別支援教育を実践していく上での諸問題の解決に役立つ研修を実施し、専門職としての資質と指導力の向上を図るとともに、公開講座を通して、教職員及び市民への特別支援教育に対する理解の推進を図る。	1,404	1,377	<p>[23年度の評価]</p> <p>基本研修として、特別支援教育新任担当教員研修と新任特別支援教育コーディネーター研修を4講座実施し、66名の教職員が受講した。</p> <p>専門研修では、発達障害児の基礎講座心理検査法等20講座を実施し、1,089名の教職員等が受講し、公開講座には、市民29名が参加した。</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>基本研修として、特別支援教育新任担当教員研修と新任特別支援教育コーディネーター研修を5講座を実施、専門研修として、発達障害児の基礎講座や心理検査法等22講座を実施予定である。</p> <p>市民対象の公開講座をこれまでの1講座から2講座に拡大する。</p>	b

38 教育研究の奨励

本市の教育活動をより充実させ、各学校の教育力を高めるために、研究学校を指定して教育課題の解明に向けた研究を行うとともに、意欲あふれる教職員を賞揚し、優れた教育実践の蓄積とその成果の普及を図ります。

達成指標	研究指定校の報告会参加人数	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		1,700人	1,670人	1700人	1,700人	B-
	教職員教育研究発表会の応募教科・領域等の割合	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		75%	75%	77%	80%	A
	出前講座等により研究成果を校内研究で取り上げる学校の割合	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		40%	39%	40%	40%	B+
教育研究奨励賞受賞者累計数	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価	
	1,069人	1,069人	1,094人	1,169人	A	

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】						
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価	
		23年度	24年度			
<b>(136)小・中学校研究学校の指定【指導課】</b>						
教員	研究学校を指定し、教育活動全般の研究、研究発表会の実施、実践報告書の作成等により、教育課題の解決促進を図る。	698	698	[23年度の評価] 9校が研究報告会を実施、約1700人の参加者があり、その成果を共有することができた。  [24年度の実施計画] 新たな研究指定校を加えて、教育課題の解明を図る。	b	
<b>(137)教育研究奨励賞による顕彰【指導課】&lt;計画(149)と重複&gt;</b>						
教員	各教科等における研究実践活動が特に顕著な教職員を表彰し、全教職員の研究奨励を図ります。	1	1	[23年度の評価] 優秀教員25名を表彰し、研究奨励の目的を果たすことができた。  [24年度の実施計画] 新たに25名の優秀教員を選考し、研究奨励を図る。	b	
<b>(138)教職員教育研究発表会の実施【教育センター】</b>						
教職員	教育活動に関する個人またはグループでの研究や実践を対象として発表の場と機会を設け、努力を賞揚するとともに、その成果を広めることにより、各学校の教育活動の向上を図る。	0	0	[23年度の評価] 研究論文の応募者が増え、さらに、研究発表会への一般参加希望者が増加したことにより、発表会の成果を広めることができた。(参加者160名)  [24年度の実施計画] 継続して実施し、教育活動に関する研究・実践活動を進めていきたい。	b	
<b>(139)教育研究の推進と活用【教育センター】</b>						
教職員	教育課題に関する研究や学校で今求めている研究などに取り組むことにより、出前講座等を通して研究成果の学校への還元を図る。	596	440	[23年度の評価] 研究成果を学校に伝える出前講座等の訪問を、80校以上に実施した。  [24年度の実施計画] こうした出前講座を継続的に実施し、学校に新しい研究成果を伝えていきたい。	b	
<b>(140)千葉市教育研究会との連携【指導課】</b>						
教員	千葉市教育研究会と連携した調査研究を行うことにより、本市学校教育における課題解明の促進を図る。	1,000	1,000	[23年度の評価] 年間137本の授業研究を行い、授業日は、初任者研修にも位置付けられ実施された。校長から若手教員までが、同じ土俵にたち、わかる授業に向けた研修会を行い、教員の指導力向上の面で大きな成果を修めている。  [24年度の実施計画] 23年度と同様に千葉市教育研究会と連携し、本市学校教育の課題解明に向けた実践研究の促進を図る。	b	

39 教職員のモラル向上

本市教職員一人一人が自分の立場と職責を自覚し、服務規律を遵守するよう促します。

達成指標	学校管理訪問の年間実施学校数の割合	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		全市立学校の3分の1	全市立学校の3分の1	継続	継続	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
<b>(141)教職員服務規律の確保【教職員課】</b>					
教員	学校の職場内研修、初任者研修等の悉皆研修等における啓発、管理職研修や学校管理訪問の機会に指導を行うことにより、教職員服務規律の確保を図る。	42	0	[23年度の評価] 初任者研修、管理研修及び学校管理訪問などを通して、服務規律の指導を行った。各学校における、服務に関する校内研修の継続的实施を促した。  [24年度の実施計画] 初任者研修、管理研修及び学校管理訪問などを通して、服務規律の指導を行う。各学校における、服務に関する校内研修の継続的实施を促す予定である。	b

(16) 教職員への支援体制の充実

40 外部人材等を活用した教職員支援システムの整備

学校現場において教員が充実した学校教育活動を行うため、また、子どもと向き合う時間を拡充するための具体的施策を推進します。

達成指標	NPO人材の活用学校数 (上段:小学校、下段:中学校)(Ⅷ-(22)に再掲)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		50校 20校	68校 17校	70校 20校	90校 30校	A B+
	教員の校務用コンピュータ整備率	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		84.3% (併用型含む)	81.3%	81.3%	100%	B+
	教員の勤務負担への教育委員会の対応 (勤務による負担が減少したと感じる教員割合)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
			検討及び実施準備	検討及び実施	50%	/
	学校問題解決支援体制の整備	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		検討準備	検討準備	検討準備	整備	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】

対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
<b>(142)NPO「ちば教育夢工房」による支援の推進【指導課】&lt;計画(184)に再掲&gt;</b>					
児童 生徒	学校への人的支援を行うNPO「ちば教育夢工房」の取組を進めることにより、きめ細かな授業や学校教育活動の充実を図る。	2,188	2,188	[23年度の評価] 「ちば教育夢工房」による支援を通じ、市内の小中学校に学校支援員を配置し、確かな学力の育成、特色ある教育活動の推進、特別に支援を要する児童生徒への支援などに取り組んだ。  [24年度の実施計画] 引き続き、NPO「ちば教育夢工房」に委託し、学校への支援を行い、さらにきめ細かな授業や学校教育活動の充実が図れるようにする。	b
<b>(143)校務のIT化の推進【教育センター/総務課/学事課】</b>					
教員	全ての教員が一台のコンピュータを校務に活用できる環境を整備するなど、校務のIT化を積極的に推進することにより、情報セキュリティの確保を図りつつ、校務の効率化による教員の負担軽減を図る。	0	0	[23年度の評価] 新Cabinet統合システムによる校務システムの本格運用を開始したことにより、セキュリティの保たれた環境での校務が行えるようになった。  [24年度の実施計画] 校務のIT化に備え、各校における活用のための研修を充実させ、活用促進を図る。	b
<b>(144)教職員の勤務負担軽減【教職員課】</b>					
教員	学校現場における教職員の勤務実態を調査し、勤務負担軽減のための検討を行うことにより、教職員の勤務負担軽減への具体的方策の検討を図る。	0	0	[23年度の評価] 子どもと向き合う時間の確保等を図るため、学校内部事務等の工夫、教育委員会により調査・照会等のあり方を検討し、24年度からの学校現場における取り組み実施の準備を行った。特に「教育委員会が主体的に取り組むこと」、「学校が主体となって取り組むこと」の方向性を整理した。また、学校管理訪問時の指導案作成廃止、教職員経験者研修の回数減など、教職員の勤務負担軽減の取り組み内容を整理した。  [24年度の実施計画] 学校現場と教育委員会が一体となって学校現場の勤務負担軽減に取り組む、対応が可能なものから随時取り組んでいく予定である。	a

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
<b>(145)教職員ヘルシーシステムの整備【保健体育課/教職員課】</b>					
教員	ストレスチェックや学校医・専門医による巡回訪問・面接の実施、メンタルヘルス研修会の実施、教職員メンタルサポート委員会の開催等により、精神疾患による教職員の長期休職を未然に防止するとともに、教職員のメンタルヘルス向上を図る。	498	451	<p>[23年度の評価] 保健体育課との連携を取りながら、教職ヘルシーシステムの整備に努めた。</p> <p>[24年度の実施計画] 引き続き、保健体育課との連携を取りながら、教職ヘルシーシステムの整備に努める予定である。</p>	b
<b>(146)CHIBAスクールレスキュー制度の実施【教職員課】</b>					
教員	教職員の緊急相談窓口である「CHIBAスクールレスキュー」制度の充実を図ることにより、教職員への支援体制の整備を図る。	0	0	<p>[23年度の評価] 引き続き、制度を実施するとともに、新規採用者への周知を図った。</p> <p>[24年度の実施計画] 引き続き、制度を実施するとともに、新規採用者等へのさらなる周知徹底を図る予定である。</p>	b
<b>(147)学校問題解決支援体制の整備【総務課/学事課/教職員課/指導課/教育センター】</b>					
教員	学校や教職員に対する過度な要求等が原因で発生した問題への対応など、学校支援のあり方について検討を進めることにより、問題解決に向けた支援体制の整備を図る。	0	0	<p>[23年度の評価] 学校や教職員に係る問題について、関係各課と連携を密に取りながら問題の解決に努めた。さらには、教育センターへの学校支援室の設置(組織改正)を検討し、24年度から設置されることとなった。</p> <p>[24年度の実施計画] 引き続き、関係各課と連携を密に取りながら学校や教職員に係る問題の解決に努めるほか、専門家(弁護士・精神科医・臨床心理士・警察官)との連携等について、更なる検討を行う。</p>	b

(17) 教職員の人事管理の適正化						
41 教職員の人事評価制度の実施						
教職員の資質能力及び職務に対する意欲の向上を図り、学校の教育力を高めるとともに、活力があり信頼される学校づくりを目指します。						
達成指標	全市立学校長を対象とした目標申告に関する面接の実施	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		実施	実施	継続	継続	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
<b>(148)目標申告制度の充実と業績評価の検討及び試行【教職員課】</b>					
教員	教職員への「目標申告制度」を充実させ、その実績や過程を客観的に評価することにより、教職員の資質向上、学校組織の活性化を図ります。	0	0	[23年度の評価] 教職員の「目標申告制度」を引き続き実施するとともに、他政令市や千葉県における業績評価の実施状況について検討した。  [24年度の実施計画] 教職員の「目標申告制度」を引き続き実施し、引き続き、他政令市や千葉県における業績評価の実施状況について検討する予定である。	b



42 教職員表彰制度の実施

教職員の資質能力及び職務に対する意欲の向上を図り、学校の教育力を高めるとともに、活力があり信頼される学校づくりを目指します。

達成指標	教育研究奨励賞受賞者累計数 (再掲Ⅶ-(15))	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		1,069人	1,069人	1,094人	1,169人	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(149)教育研究奨励賞による顕彰【指導課】<計画(137)の再掲>					
教員	各教科等における研究実践活動が特に顕著な教職員を表彰し、全教職員の研究奨励を図ります。	1	1	[23年度の評価] 優秀教員25名を表彰し、研究奨励の目的を果たすことができた。  [24年度の実施計画] 新たに25名の優秀教員を選考し、研究奨励を図る。	b